

●日本及びその周辺での主な地震活動

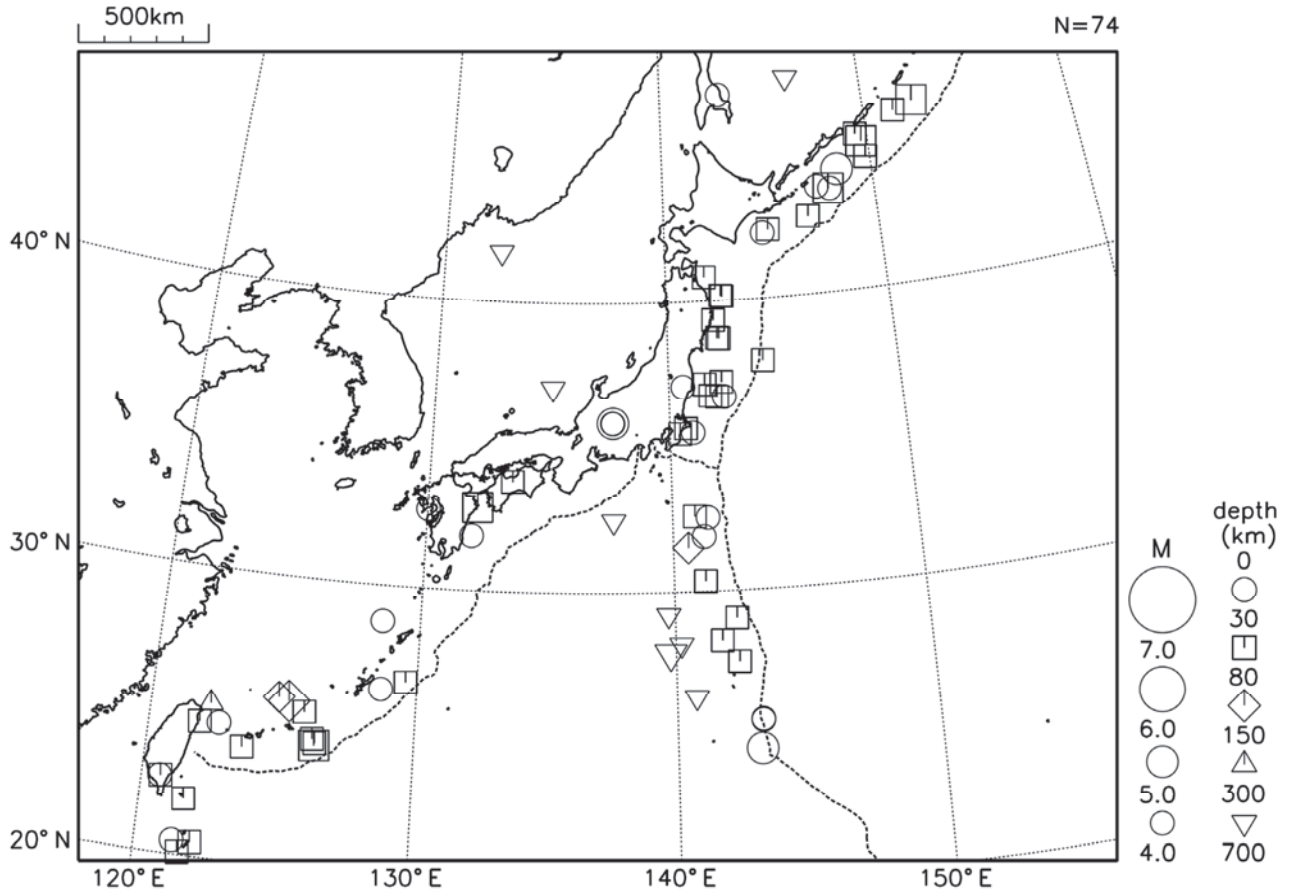


図 1 平成 29 年 6 月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

6 月 20 日 23 時 27 分に豊後水道の深さ 42km で M5.0 の地震が発生した。この地震により、大分県で震度 5 強を観測したほか、九州地方から中国・四国地方にかけて震度 4～1 を観測した。

6 月 25 日 07 時 02 分に長野県南部の深さ 7km で M5.6 の地震が発生し、気象庁は緊急地震速報（警報）を発表した。この地震により、長野県で震度 5 強を観測したほか、中部地方を中心に関東・甲信越地方から中国・四国地方の一部にかけて震度 5 弱～1 を観測した。この地震により、軽傷 2 人等の被害が生じた（平成 29 年 7 月 3 日現在、総務省消防庁による）。

平成 29 年（2017 年）6 月に日本国内で震度 4 以上を観測した地震の回数は 5 回（5 月は 2 回）、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 74 回（5 月は 58 回）であった（図 1）。

6 月中に発生した主な地震を表 1、M3.0 以上の地震の震央を図 2、震度 4 以上を観測した地震の震度分布図を図 3 に示す。6 月中に震度 5 弱以上を観測した地震は 2 回、津波を観測した地震はなかった（5 月は震度 5 弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった）。

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動は、全体として引き続き減衰傾向がみられる。今回の一連の地震活動により、死者 230 人、負傷者 2,775 人、住家全壊 8,680 棟などの被害が発生した（平成 29 年 6 月 14 日現在、総務省消防庁による）。

表 1 平成 29 年 6 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）（注 2）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M (注 3)	M _w (注 3)	M H S T (注 4)	最大震度・被害状況等（注 5）	掲載 ページ
1	6 9 23 36	橋湾	4.3	4.3	・ ・ S ・	4：長崎県 諫早市多良見町* 諫早市飯盛町*	4、17
2	6 14 19 24	高知県中部	4.5	—	・ ・ ・ ・	3：高知県 土佐町土居* など 5 県 15 地点	15
3	6 19 5 51	福島県中通り	4.5	4.3	・ ・ ・ ・	3：福島県 古殿町松川新桑原* 浅川町浅川* 古殿町松川横川	10
4	6 20 23 27	豊後水道	5.0	4.9	・ ・ S ・	5 強：大分県 佐伯市鶴見*	4、18
5	6 25 7 2	長野県南部	5.6	5.2	・ H S ・	5 強：長野県 王滝村役場* 木曾町三岳* 王滝村鈴ヶ沢* 緊急地震速報（警報）を発表 被害：軽傷 2 人など (平成 29 年 7 月 3 日現在)	5、 12～13
6	6 25 9 24	長野県南部	4.5	—	・ ・ S ・	4：長野県 木曾町開田高原西野*	6
7	6 25 15 17	長野県南部	4.7	4.5	・ ・ S ・	4：長野県 木曾町三岳* など 1 県 3 地点	6
8	6 28 21 7	北海道東方沖	5.7	5.5	・ ・ ・ ・	3：北海道 根室市落石東* など 1 道 3 地点	8
9	6 30 23 4	宮古島北西沖	5.2	5.2	・ ・ ・ ・	3：沖縄県 宮古島市下地*	20

(注 1) 主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。

(注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

(注 3) M_w欄の「—」はM_wが求められていないことを示す。また、空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない。

(注 4) M H S T の各項目について、M:M6.0 以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度 4 以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

(注 5) 最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

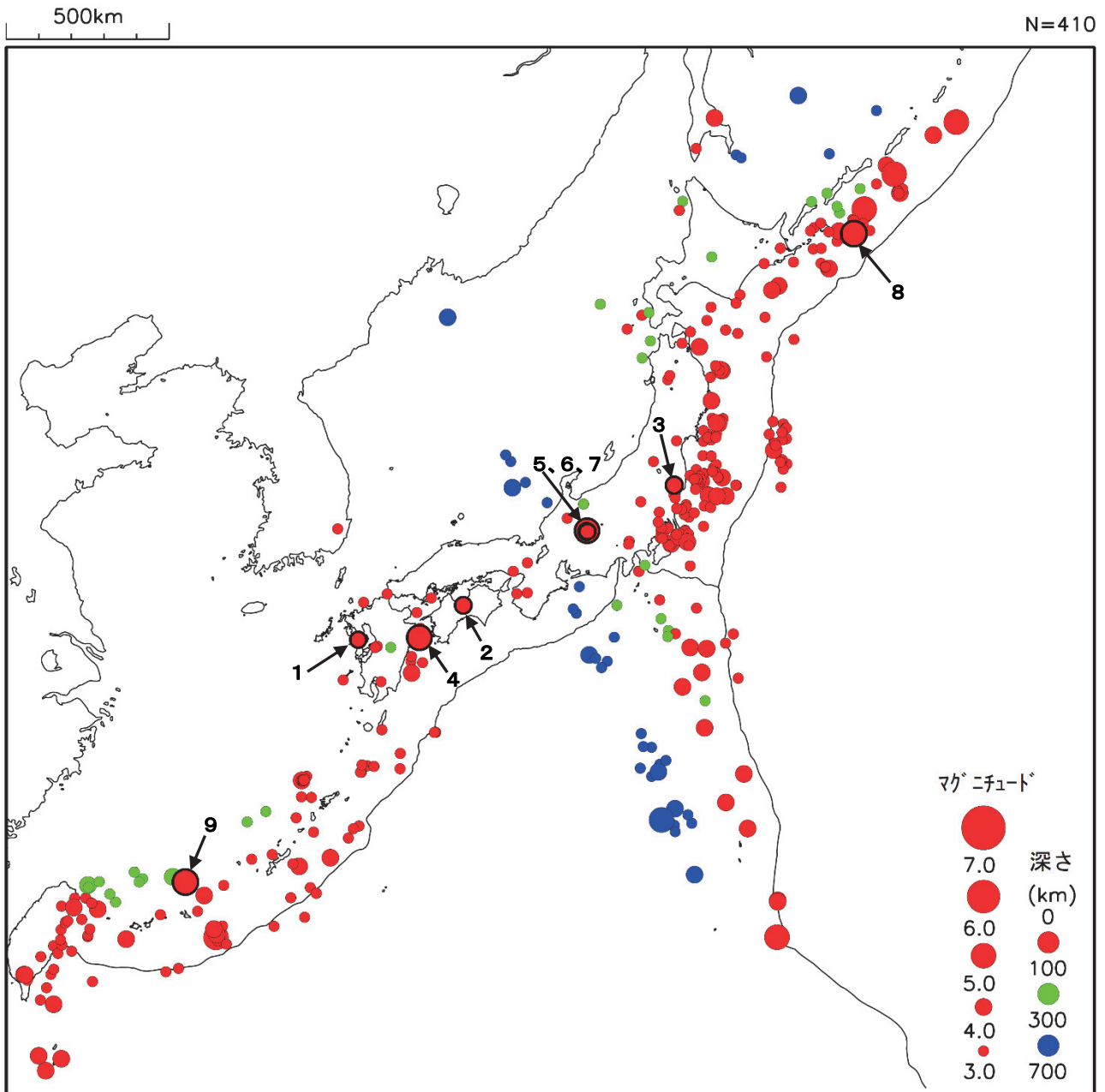


図 2 平成 29 年 6 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
(図中の数字は表 1 の番号に対応)